

AMG リハビリテーション部広報誌

リハ通信

連携・信頼・進化のAMG リハ

リハビリテーション部 基本方針

1. お互いに高められる関係づくり
2. 新しい時代を創出する体制づくり
3. 地域包括マネジメントシステムの確立

2018/4月号

部長挨拶

AMG 協議会リハビリテーション部

部長 奥村 博文

「AMG のリハビリチーフの皆さまへ」

今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

年度が替わって、診療報酬・介護報酬改定で大変とは思いますが、小まめにメーリングリストを使って情報共有をお願いいたしますね。新人さんたちのこともどうぞよろしくお願いいたします。

「新人さん方の教育に関わっている方へ」

いつも精一杯のお仕事をお疲れ様でございます。

いつも、同じことを申し上げて恐縮ですが、新人の方々へは、まず所属する安心感(守られる安心感)を感じさせてあげてくださいね。

「自分がここに居ることで迷惑をかけているのではないか」と思うと実力も発揮できなくなり、質問にも躊躇し、ミスが多くなります。先輩たちが、「ここに居ることを認め、後輩が出来てうれしいとか、分かってもらえて説明した甲斐があったとか、君、おもしろいやつだなあとか、片付けてもらってありがとうとか」とか先輩たちからのプラスの声掛けをお願いいたします。

新人さんが何かミスをした場合には、自分が新人だった時を思い出すと、イライラもしませんよ。私なんか、自分の新人だった時を思い出すと、新人さんに「何も言えないな」と思います。私は、とんでもなくポンコツでしたから。

「新人さん方へ」

ようこそ、上尾中央医科グループへ。

新人職者研修(リハビリ部門)は、皆さまに「上尾中央医科グループに入職してよかった」と思って頂ける様に、講師陣を厳選したつもりです。今後に夢を持って、進んでいただければ幸いです。

何でも聞けるのは、今のうちですから、不安な時は躊躇無く先輩に聞いてくださいね。

分からないこと、覚えなくてはいけないことが多くて、元気を無くさないでくださいね。日々、一つずつ成長できれば良いんです。

同期や優秀な先輩と比較して落ち込んではいけませんよ。自分が成長したいのなら、比較すべきは昨日の自分ですよ。患者さんの評価の際に隣の患者さんと比較しないのと同じです。自分には自分の良いところが有って、採用試験もパスしましたし、与えられた使命、宿命があつて今ここに居るんですから。

休みの日は、同期のメンバーとゆっくり話すと良いですよ。みんな同じ悩みを感じていると知ると、それだけで救われることがありますので。

◆部長ホットライン

TEL : 048-775-6466

MAIL : hirofumi.okumura@achs.jp

なんでもご相談ください

所長あいさつ

AMG地域健康推進研究所

所長：前園 徹



【新入職の方々へ】

入職おめでとうございます。

そろそろ、免許登録も終わり晴れて患者さん・利用者さんと向き合えるようになりますね。対象となる方々やご家族と向き合い、一生懸命セラピスト人生を楽しんでください。

セラピストに期待される分野がどんどん広がっています。

【セラピストの皆さんへ】

今年度も多くのスキルアップ研修会を提供させていただき予定ですので、ふるって参加してくださいね。いっしょに知識・技術を深めて生きましょう。

【管理職の皆さん、これから管理に携わるみなさんへ】

『リハビリテーション管理・運営実践ガイドブック（仮）』（30年10月出版予定）にリハビリテーション科のリーダー（グループリーダーを含む）とはについて寄稿させていただきました。冒頭部分を紹介します。

リーダーとは、部下を監督し、適切な指示をする役職の総称である。

経営上層部の方針を踏まえて、自分が担当する業務について具体的計画を立案し、個々の仕事を部下に割り当て、業務が最大限の効果が出るような指示・命令を行い、

そのプロセスを監督・評価し、それをもとに次の計画立案や指示・命令を出す一連の業務を行う人間が管理者である。

リハビリテーション（以下、リハという）科のリーダーとは、病院・施設（以下、施設という）内におけるリハ科を発展・充実させ、ひいては施設の中においてリハ科が重要な地位を築くことにより収支に貢献すること、患者・利用者のために必要とされる組織にしていくことである。地域の中で、施設は住民のための財産であることを認識する。

◆AMG 地域健康推進研究所

TEL : 048-778-2805

MAIL : toru.maesono@achs.jp

FAX : 048-778-2806

軽井沢交流会 ふりかえり

上尾中央医療専門学校 教員 梅津聡



今年も3月9日(金)～10(土)作業療法学科、10日(土)～11日(日)理学療法学科の日程で、軽井沢交流会が開催されました。

学生は自分のキャリア、就職先、進路について考えるための材料をたくさん頂きました。

昼セミナーのオープニングでは、先輩の講話(さがみリハビリテーション病院の佐伯係長、杉並リハビリテーション病院の干場科長)にお話し頂きました。

その後、グループでの就職、実習について座談会、夜はお酒を交えての学生が先生方とお話しさせて頂きました。2日目の朝セミナーでは、地域包括ケアシステムと具体的な事例を教授頂きました。グループで話されている内容を伺い私も身につまされるお話がありました。例えば、部下が発する「やった方が良いですか?」という言葉。やった方がいいと思ったらやれば良いじゃないか、と残念に思うというご意見。いずれにしてもやらなくてはならないことに対してネガティブな要素ばかりをあげつらうスタッフ。やってもやらなくともリスクは伴う。やるならどうすればうまくできるかを話し合うことに時間を使いたい、というご意見。人はネガティブな行動、感情ではなく、ポジティブな行動、感情で支え合うことを認識し反省いたしました。スタッフが同一のビジョンを持って働いているのがAMGリハの強みであることも再認識できました。そのようなAMGマインドを学生に注入頂いた有意義な会となったと存じます。

学生においては引き続き、臨床実習、就職活動にてご指導を賜ることと存じます。学生のみならず教員に関しても御指摘、アドバイスを頂戴できれば幸甚でございます。

今後ともよろしくお願い申し上げます。3日間ありがとうございました。

☆軽井沢交流会に参加された学生さんの感想です☆

理学療法学科 2年 福島和さん

軽井沢交流会では臨床現場で働く先生方に、実習や就職、国試のことについて質問や相談をさせていただくことで、漠然と抱いていた疑問や不安を解消することが出来ました。また、地域包括ケアのことについてもお話をいただき、リハ職における地域支援活動について視野を広げることが出来ました。今回の交流会に参加するにあたって、初めはとても緊張していましたが、しかし先生方が気さくにお話をしてくださったことで、徐々に緊張が和らぎ気兼ねなく楽しくお話をすることが出来ました。同時にそのような先生方を目標にしたいと改めて感じ、今後の課題や目標が明確になりました。さらに、交流会の準備などをクラスメイトで協力して行うことで、チームワークを高めることが出来たと思います。今回、お忙しい中参加して下さった病院・施設の先生方、学校の先生方、本当にありがとうございました。



作業療法学科 2年 植原和恵さん

今回の軽井沢交流会に参加し、現場の先生方に実習や国試に関する質問、今後の就職活動に対する相談をする事で、今まで悩んでいたことや不安に思っていたことを解消することができました。

3部のディスカッションをする前は、とても緊張していましたが、現場の先生方が楽しい雰囲気を作ってください、気軽に質問をする事ができました。ナイトセミナーでは、飲食を交えながら様々な病院や施設の先生方とお話する事で、実際の現場の雰囲気や特徴、求めているOT像を知ることができました。

また、交流会の準備から片付けまでクラスメイトと協力し合っている事で団結力が上がり、今後、準備していかなければならない課題点も見つかりました。今回このような機会を作って頂いた先生方や参加して下さった病院・施設の先生方に深く感謝します。ありがとうございました。



平成30年度 異動・昇格者(チーフ)コメント集

新たなスタートを迎えた異動・昇格者のチーフの皆さんに今年度も今後に向けての抱負を聞いてみました！
リハビリ科一丸となって協力していけるような、そんなリハビリ科にしていってほしいと思います。
異動・昇格者のチーフの皆さん、どうぞ宜しくお願い致します！！

上尾中央第二病院 科長 渡邊 孝広

この度、上尾中央第二病院リハビリテーション科、科長職を拝命致しました渡邊孝広です。
平成30年度は診療報酬・介護報酬のダブル改定の年であり、当院の回復期病棟ではアウトカム評価の更なる高い基準が設定され、リハビリテーションの質の向上が求められています。病院全体としては、医療安全、認知症対策など様々な多職種のみならず、施設間での連携が必要となっております。
私は、病院の医療の質向上を実践していくとともに、AMGの施設間連携を深め、上尾市を中心とする住民の方々の医療・介護・福祉の充実に寄与していきたいと考えております。今後とも宜しくお願い致します！！



ナーシングプラザ港北 科長 江原 央晃

今年3月1日付けで古巣のナーシングプラザ港北に戻りました。またバス・電車通勤になり健康的です。
継続して地域に開かれた施設を目指し、外部に向けて施設の良いところをPRしたいと思います。
宜しくお願い致します。

ハートケア左近山 主任 宮 晃司

チーフとして考えることが多く不安もたくさんありますが、先輩チーフを見習いながら、より良い施設・リハビリテーション科を目指していきたいと思えます。



老健勝田 主任 神郡 聖史

はじめまして老健勝田の神郡（かんどおり）と申します。微力ながら4月よりチーフという大役を任せられ、日々走り続けています。
今年度は介護報酬改定もあり、私にとっても施設にとっても大事な1年になりそうです。私自身、AMG歴も浅く勉強する事ばかりですが、今後ともよろしくお祈りします。

平成30年度リハビリテーション部門 新入職員研修会 報告

平成30年4月7日(土)、17日(火)に、東京の星陵会館にてリハビリテーション部門の新入職員研修会を行いました。

今年度はPT151名、OT74名、ST23名の計248名が新たにAMGの仲間に加わりました。

これからは学生の頃とは違い、働いていくにつれて不安な事等が増えてくると思いますが、同期や先輩と一緒に成長していったほしいと思います。入職おめでとうございます！

今回は下記の内容を2日間に渡り実施致しました。



奥村部長

干場科長

高橋科長

市川科長

< 講義内容 >

★1日目★

- ①医療・介護・福祉情勢とAMGリハ部運営方針
AMG協議会 部長 奥村 博文
- ②AMGリハ部の期待するセラピスト像と人財育成制度
柏厚生総合病院 科長 高橋 一樹
- ③AMG新人セラピストの仕事
～1日・1月・1年の流れを知ろう！～

上尾中央総合病院	PT	西原 有紀
三郷ケアセンター	OT	坂寄 太一
さがみりハビリテーション病院	ST	菊地 香織

④先輩セラピストからのエール

上尾中央総合病院	科長	山口 賢一郎
さがみりハビリテーション病院	係長	佐伯 まどか
横浜なみきりハビリテーション病院	科長	廣瀬 裕介

⑤AMGセラピストの心構え

杉並リハビリテーション病院 科長 干場 竜志

★2日目★

- ①病院・老健の経営収支とセラピストの役割
さがみりハビリテーション病院 科長 市川 勝
- ②医療安全と感染対策
上尾中央総合病院 科長 山口 賢一郎
- ③行動目標の設定
杉並リハビリテーション病院 科長 干場 竜志



山口科長

西原 PT

坂寄 OT

菊地 ST

佐伯係長

廣瀬科長



PT OT ST 新入職員からのコメント

この春、AMGに入職した新入職員の方々に抱負をお聞きしました！



杉並リハビリテーション病院 OT 中嶋 純一さん

AMGに入職し、今は期待と不安でいっぱいです。

臨床実習で実際の現場で働く先輩セラピストの姿に憧れを持ち入職しました。

今後は Your smile our Happiness の精神を忘れずに自分の出来る最大限の力を持って、患者様の為にリハビリを提供していきます。

越谷誠和病院 PT 宮崎 涼太さん

4月に入職し、PTになるという夢を叶えることが出来ました。

しかし、現状に決して満足することなく、AMGの一職員としての自覚を持って、病院や患者様から信頼されるPTになれるように努力していきたいと思えます。

ご迷惑をお掛けする点も多々あると思えますが、一生懸命頑張ります。

これから宜しくお願いします。



上尾中央総合病院 PT 佐野 愛梨さん

AMGではラダーやプリセプター制度等、様々な新人教育制度が充実しており、自分の気持ち次第で成長していける環境をととても魅力に感じています。そして、このような職場で働けることを大変光栄に思っています。1年目ということでもだまだ未熟ではありますが、徐々に出来る事や応えられることを増やしていける様、日々自己研鑽に努め、主体的な学びを心掛けていきたいと思えます。また、患者様のみならず自分の所属する病院やAMGの為に自分に出来ることは何かということを常に考え貢献していこうと思えます。

AMGの一員として働くという自覚を持ち先輩の背中を一生懸命取り組んでいく次第です。



ハートケア東大宮 OT 鈴木 綾香さん

利用者様との日々の関わりを大切に、知識技術向上はもちろんのこと、1人1人にきちんと向き合っていきたいと思えます。知識技術はまだ少なく、先輩方や利用者様にはご迷惑を掛けてしまうかも知れませんが、自分らしく元気に頑張ります。



千葉愛友会記念病院 ST 吉田 直樹さん

自分に求められている役割を全力でこなしていき、患者様を始めとした周囲の人々に信頼して頂ける様なSTを目指して日々精進していきます！宜しくお願いします！

一心館 PT 川口 涼さん

入職してから間もないですが、笑顔を忘れずに利用者様第一で良質な理学療法を提供していきたいです。また、主体的に行動して地域に貢献できるPTを目指していきます。



今後更にリハビリ部門を盛り上げて行きましょう！よろしくお願い致します！！

第1回 AMG スポーツリハビリテーションフォーラム報告



上尾中央総合病院 リハビリテーション技術科 主任 西岡幸哉

主催: AMG スポーツリハビリテーション委員会、共催: 上尾中央総合病院リハビリテーション技術科

第1部 特別講演 「Jリーガーにおけるリハビリテーション～サッカー現場における理学療法士の役割～」講師: 前田伸悟先生(リハビリディサービスアクティ 2017年FC東京フィジオセラピスト)



第2部 シンポジウム 各施設におけるスポーツリハビリテーションの取り組み

発表施設: 上尾中央総合病院、笛吹中央病院、白岡中央総合病院、桜ヶ丘中央病院、八潮中央総合病院、伊奈病院

参加者 68名(アンケート回収数 60枚)

3月21日、第1回 AMG スポーツリハビリテーションフォーラムを開催しました。今回はいままで当委員会がおこなってきました講習会のアンケートで希望の多かった「実際の現場のことを知りたい」という声や、「スポリハの実際の取り組みを知りたい」という声にお応えする形で実施しました。

特別講演に関しては 2016年まで上尾中央総合病院で勤務され、2017年にサッカーJ1 FC東京でフィジオセラピストを務められた前田伸悟先生をお呼びしました。チームにおける実際のスケジュールや、トップアスリートのトレーニング・リハビリテーションの実際をお話していただき、参加者は普段聞けない話を聞くことができたようで目を輝かせていました。



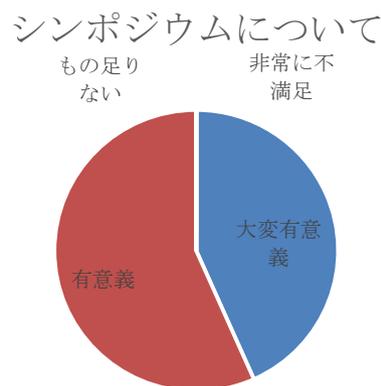
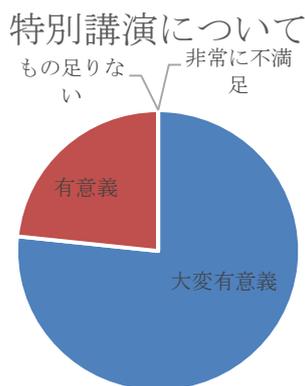
シンポジウムに関しては初めての試みで準備に苦労しましたが、いざ実施してみると各施設で様々な取り組みや活動があり、情報共有の場として非常に有用なものとなりました。また、苦労する点や困難な点についても共有することができ、AMG内で結束をより強固にしていけるのではないかと可能性も感じました。

今回発表・参加していただいた施設の方々にはありがとうございました。特に、今回は上尾医療専門学校理学療法学科の学生の参加もあり、学生のうちから興味を深めてもらうことも非常に重要なことと痛感しました。また、より多くの施設の方々と情報共有をしていきたいと考えておりますので今回参加できなかった方々も次回以降の参加お待ちしております。

今後、AMG スポーツリハビリテーション委員会は、AMGにおいてスポリハを盛り上げて、皆様と協力しながら発展していきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。



アンケート結果





★ 横浜なみきリハビリテーション病院 廣瀬裕介さん (ST) のご紹介 ★

I. はじめに

1. 基本的属性 (性別、年齢、職業、家族構成、居住地、資格・免許、学歴)

性別：男性、年齢：46歳、職業：言語聴覚士、
 家族構成：妻、長女（9歳）、長男（6歳）、
 神奈川県藤沢市、免許：言語聴覚士、学歴：某
 大学工学部建築学科卒、会社員を経てST養成
 校

2. なぜこの職業に就こうと思ったのですか？

福岡に住む祖母が新聞の社説「言語療法士の国家資格
 化を急げ」という内容の記事を見つけ、こういう仕事は向い
 ているのではと、声をかけてくれたことが、きっかけでした。

3. 今、取り組んでいること、学んでいることは？

今回の診療報酬・介護報酬改定を経て、この先どのように
 対応して、どう展開していくのがいいのかいろいろと考えてい
 ます。それとスタッフが少しでも効率良く働きやすくなるように
 するには何ができるかを日々考えています。

4. 今、取り組んでいること、学んでいることにはどんな想 いで？

時代が求めるリハ病院としての機能と役割は地域の中でど
 のようにあるべきか、当院は「頼り頼られる病院」を理念とし
 ておりますので、その理念に基づき前に進んでいきたいと思
 っています。また同時にスタッフの置かれている環境も変わっ
 てきていますので、それにマッチできて働きやすい環境にして
 いきたいと思っています。

II. 経緯とターニングポイント

1. 職歴

建設会社（1995 – 1998）⇒ S T 養成校（1998 – 2000）⇒ 大勝病院（鹿児島市）（2000.4 – 2002.9）⇒ 屏風ヶ浦病院（現：横浜なみきリハビリテーション病院）（2002.9～）

2. 子供のころはどんな子供でしたか？

いろいろな習い事をしていましたが、何も身についてなく、妻からはコスパの悪い子だといつも言われます、、、

3. 父親から学んだことはなんですか？

父は九州男児で短気なところがあり、一緒に外食に行くと料理がでてくるのが遅いと店員を怒鳴りつける、そんなタイプでした。そうなってはいけないと学びました（笑）。

4. 母親から学んだことはなんですか？

とにかく世話好きで、人のためなら自分を犠牲にしてもやってしまうお人好しです。いつか詐欺に遭わないか心配です。

5. 今取り組んでいること、学んでいることのきっかけは？（ターニングポイント）

ターニングポイントは“AMG落ちた”です。ST養成校時代はSTが国家資格になったばかりで、学校に来る求人票は地方中心で、神奈川県内の求人はほとんどありませんでした。そのため電話帳を開いてリハビリがありそうな病院を片っ端から電話をかけて「言語聴覚士は募集していませんか？」と問い合わせていました。返事はみなNOで、「何その資格？」と逆質問されることも多かったです。途方に暮れていたとき、山梨ですでに就職が決まっていた北里大理学部卒の同級生が、北里大医療衛生学部へ忍び込み求人情報を見てきてくれました。そして私に「横浜の磯子区に屏風ヶ浦病院というのがでてたよ」とこっそり教えてくれました。この情報は本当に貴重で、他の人に言うかどうか一瞬迷いましたが、同級生たちも就職活動でかなり苦戦していましたので、母親譲りの人のよいボクはクラスのみんなに教えました。そして見学に行ったら20人から30人もの学生が来ていました。この時代はST学生にとっては本当に厳しい時代でした。そして屏風ヶ浦病院はかなりの難関でした。18名くらい受験しましたが最終的に合格したのは私の友人でした（涙）。神奈川はこのような状況でしたが、

九州は違っていました。リハビリが盛んで求人はたくさんあり、結局神奈川の就職はあきらめて遙々鹿児島県の病院へ就職となりました。

ここからST人生が始まったのでターニングポイントとしてお答えさせていただきます。



6. ターニングポイントを迎えるまではどんな仕事を体験してきましたか？

STになる前は建設会社で主に施工管理（現場監督）の仕事を行いました。現場監督は気力、体力ともかなりハードでした。突貫工事もあり、丸2日間半以上一睡もせず働くこともありましたが、社会人としての原点を学びました。一つの現場を仕上げるにはそれぞれの専門職がいて、その役割を果たしながら一つの目標に向かっていく、これってチーム医療と全く同じですね。

7. 当時は、将来の展望をどう考えていましたか？

鹿児島に来た当時は将来のことは考えられず、とにかく早くSTとして機能できるよう自分を奮い立たせておりました。「きばーれ、きばれ、きばいやーんせ〜」長渕剛“気張りやんせ”の歌が頭の中をぐるぐると流れていました。



8. 当時の感想や思い出、悩みや不安は？（プライベートも含めて）

プライベートでは鹿児島にとにかく慣れようといろいろなコミュニケーションに関わっていききました。

その中の一つでヨットチームに入りました。いろんな職種の方
がいて私は一番の若手でしたが、とてもかわいがってもらいま
した。ヨットを機に鹿児島での交流（人脈？）の幅が一
気に広がりました。



9. 当時に影響を（良くも悪くも）受けた人物はどんな 人？どんな影響を受けましたか？

実は屏風ヶ浦病院を受験したときのリハ科チーフが石川科
長（現横浜小雀）でした。落してもらって拾ってもらっ
て、、、（笑）私の人生で最も多くの影響を受けた方です。
そして尊敬する上司であり兄貴です。ときどき私が鹿児島

から帰省すると石川科長はいつも声をかけてくださり、いろい
ろなお話をさせていただきました。とてもありがたかったです。
石川科長は宮崎の都城のご出身で大学は建築学科を卒
業されていて、共通することも多くありました。ST になってか
らもチーフになってからも要所要所でアドバイスをいただきま
した。本当に感謝です。

10. ターニングポイントを迎えた時の気持ちは？不安 は？不安があればどう対処しましたか？

やはり“AMG 落ちた”時はショックでしたね。ですが鹿児島
では親切であたたかい方々に会い、来てよかったと心から
思いました。とにかく馴染むように積極的にいろんなことに飛
び込みました。苦しいときは長渕剛の歌がボクを救ってくれ
ました。

11. 今取り組んでいること、学んでいることをやりはじめ たときはどうでしたか？

大勝病院は鹿児島ではSTの老舗で、国家資格になる
だいぶ前より、STが在籍しており、この病院からSTとい
う職種が県内に広がったと言っても過言ではない歴史のあ

る病院でした。先輩S Tは失語、高次脳に強く、先輩のほとんどは伊豆韮山温泉病院という失語症検査（S L T A）を作った病院に1～2年間修行にいました。そんな中いろいろと学ばせていただきました。しかし唯一嚥下だけは消極的でした。嚥下は授業で習っており、これからはS Tが嚥下についても中心的な役割であることを認識していたので、「どげんしてやらんといかん」と思っていました。当時から他の部署と仲良くなるのが得意なボクは、放射線技師や医師と試行錯誤しながらV Fを立ち上げることに成功しました。ちょうどS T 2年目でした。V Fをはじめてからは嚥下にさらに関心をもって、その後神奈川にもどってからも重点的に取り組んでいきました。

12. その頃の挫折・失敗体験は？また、そこからどう立ち直りましたか？

やはりS Tはちょっと閉鎖的な感じはありました。すごく優秀なS Tの先輩ばかりでしたが、S T室はリハ室とは別の場所にあり（その当時からS Tの個室は12室もありました）、また、ケーシーでなく白衣で、もちろんリハ科ではありましたが、独自の組織になっていました。もっとオープンでないとダメだと、先輩に反発することもありました。今考えると

生意気で大人げなかったなと思っています。コミュニケーションを扱う仕事なのに、感情的になっては円滑なコミュニケーションができていないと反省しました。

13. そこから何を学びましたか？また、現在にどう生きていますか？

仕事や人間関係がうまくいくのも、いなくなるのもコミュニケーション次第だなとつくづく思います。言葉の一つを間違えただけでこれまで築いてきた関係性が一気に崩れてしまうことがあり、言葉の選び方ってほんと大事だなと強く感じます。特に顔と顔を合わせないやりとりは感情が伝わりにくいので、メールを打つ時はものすごく慎重に行うようにしています。絵文字はビジネスではもちろん使えませんが絵文字って本当に便利ですね。

III. 具体的な仕事の内容

1. 1日の仕事の流れは？

朝礼から始まり、科内ミーティング、委員会、院内会議、相談・面談・指導、臨床、代診、訪問リハ、V F、終礼など、日によってですがそんな感じで一日が終わります。

2. 今取り組んでいること、学んでいることの具体的な内容は？

今、特に力を入れているのは外来V Fの積極的な受入れです。周りにはV Fを簡単に受けられる施設はなく、できても一泊入院になるとかとてもハードルが高いのが現状です。そんな中もっと身近に、もっと気軽に在宅の嚥下障害の方が受けられるようになれたらいいなと思って実践しています。

3. やりがいは？

在宅では「経口摂取はもう無理」と入院中に言われ、その後在宅でずっと経管栄養になったままの方が結構いることに気づきました。経口摂取の可否や条件などを客観的に評価ができるV Fによって、少しでも食べられると判断されれば、その方のQ O Lは飛躍的にアップします。患者さんのため、そしてこの取り組みによって地域連携が一気に進んでいくことにとってもやりがいを感じています。アピールのかいがあつて依頼件数はこの一年で急激に増えてきました。

4. これまでの仕事上での最大の成功は？

多くの患者さんとこれまでお会いしました。その中で一番の成功といえますか、特に印象に残っているのが、外来で担

当した中等度失語症を呈した方で、某大学病院に勤務されその世界ではかなり名の知れた方でした。熱心に言語リハに取り組まれ改善のスピードも速かったのですが、ある日、某経済新聞社主催の医療セミナーにパネリストとして声が掛かりました。引き受けるかどうかご本人は自信がなく迷われていましたが、一緒に考え、悩み、最終的に、やる！と決意されました。そこからは二人三脚でプレゼン資料の作成、発表原稿、ディスカッションでの質問応答などリハを通して練習を重ねました。当日のセミナーはコレド日本橋にある大ホールで行われ、客席は678席満員でした。司会は有名女子アナでとても華やかなセミナーでしたが、ご本人はその役割を見事に務めました。客席から見えていましたが、その時の感動は今でも忘れません。まるで映画「英国王のスピーチ」の言語療法士役の人物になった気分でした。この仕事最高だなと思った瞬間でした。



5. それによって何を心得、何を学びましたか？

患者さんの思いに寄り添い（もちろん病態などでできないことはありますが、、、）チャレンジすること、あきらめないことですね。

6. その学びをどう活かしていますか？

少しでも可能性があればとことん付き合っ実現できるように向き合っています。

7. 現在、解決しなければならない問題は？その解決策は？いつやりますか？

リハ科チーフとして解決しなければならない問題はたくさんあります。解決策はすぐには見つからないこともあります、ひ

とつずつ丁寧に問題に向き合い、良い方向に向かって行けたらと思っています。

8. その仕事に就いて自分が変わったことは？

リハ科チーフとして 10 年以上経過しました。いいスタッフが集まっている専門職集団なので、それぞれの個性や長所を活かして、さらに伸ばせるように後押しができればいいと思います。この考えはチーフになった当初と今も変わりません。

9. 仕事以外にも何かやっていることは？休日とか…

親戚や友人と 30 万で買った古いヨットを横浜で所有していて週末に乗っています。どなたかよかったらメンバーになってください！

10. 生活と仕事の両立について

永遠のテーマですね、共働きなので家事、育児は分担しています。妻からは 50/50 を求められます。特に自分が飲み会で帰りが遅い日も食器洗いや洗濯干しは容赦なく残してくれています。夜中フラフラになりながら洗濯物を干すのはかなりきついですが、共働きの宿命ですので、仕事も家事もこれからも頑張ります。

IV. おわりに

1. 今後（近い将来 3～5 年後程度）の目標は？

白髪があちこちに増え、老化や体力の衰えを感じているので、これからも元気に仕事ができることです。

2. そのためにどんな想いでどんな取り組みをしていますか？

「元気があれば何でもできる」って本当にそう思います。適度な運動、睡眠、暴飲暴食に気を付けたいと思います。

3. 目指している人物はいますか？

リスペクトする人は沢山います。その中で、最も目指したい、カッコいいと思える人は屏風ヶ浦から横浜なみきリハ病院へ移転した時の院長です。目指すなんておこがましいですが、憧れです。

4. 目指している人物がいたとしたらその人物はどのような点で目指す価値がありますか？

屏風ヶ浦病院の大転換を図ってくれた先生で、一緒に仕事をするととても楽しかったです。バイタリティに溢れ、この先生

がいるだけで人が集まってきました。ユーモア、気配り、男気、ダンディズム、リーダーシップ、そして結果を残す！すべてにおいて男も惚れる男でした。あんな風になれたらカッコいいなといつも思っています。

5. あなたにとって仕事とは？

世のため、人のため、己のため、お金のため、生きていくため、これら全てが一つも欠けることなく合わさっていること、そんな風に思っています。

6. AMG で働く仲間に向けてメッセージをお願いします！

ボクのようにAMGを一回落ちた人はそういないと思います。AMGに入れるなんてすごい！AMGリハ部は多様な人材が豊富で、病院、施設間でとても仲良く楽しいです。これからも助け合いながら一緒に笑顔で働けたらいいなと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



🚲 桜ヶ丘中央病院 加藤太一さん (ST) のご紹介 🚲

I. はじめに

1. 基本的属性 (性別、年齢、職業、家族構成、居住地、資格・免許、学歴)

性別：男性 年齢：38歳 職業：言語聴覚士

家族構成：妻・息子 (7歳)

居住地：神奈川県秦野市 (丹沢の麓)、資格・

免許：言語聴覚士

学歴：多摩リハビリテーション学院言語療法学科夜間部卒業

東洋大学通信教育課程を8年間かけて通った

けど中退

2. なぜこの職業に就こうと思ったのですか？

高校卒業後、自転車競技 (ロードレース) の実業団チームに入り、脳みそまで筋肉になるような生活を送っていましたが、父の病気、弟の事故などで病院に通う日々が続いたことで“ハッ！”と気づきます。「20歳にもなって収入が得られないことをいつまで続けるんだろう・・・」。病院でキラキラしながら働いている人たちを見て、「自分も人のためになにかしたい！」と思い始めます。だけど、脳みそまで筋肉の自

分にできる仕事って・・・「そうだ！言語聴覚士になろう！？」

言語聴覚士としての種を蒔き始めた時です。

3. 今、取り組んでいること、学んでいることは？

脳みそなこと



～リハ医学会で発表された加藤係長 (右端) ～

4. 今、取り組んでいること、学んでいることにはどんな想いで？

「英単語すら覚えることができないくらい筋肉だった自分の脳みそでも、なんとか言語聴覚士の仕事ができるくらいの知識を得ることができるんだ！脳って不思議だな～。だけど、年齢を重ねれば重ねるほど脳の機能は衰えていく・・・。なんとかならないのかな？」

II. 経緯とターニングポイント

1. 職歴

鶴巻温泉病院 2005～2009年

桜ヶ丘中央病院 2009年～

2. 子供のころはどんな子供でしたか？

やんちゃで悪ガキでしたが、好奇心は旺盛で、小学校6年生の時に自転車で行けるところまで行ってみようと思立ち、群馬県（！？）まで行きました…

3. 父親から学んだことはなんですか？

自転車の乗り方

4. 母親から学んだことはなんですか？

家事全般

5. 今取り組んでいること、学んでいることのきっかけは？（ターニングポイント）

脳みそのことをもっと知りたい！と思い、前の職場を離れ、桜ヶ丘中央病院に入職して1年目の頃、日本高次脳機

能障害学会に参加した時に師匠と崇める人との運命的な出会いをしました。7年前に蒔いた種からようやく芽が出ました。

6. ターニングポイントを迎えるまではどんな仕事を経験してきましたか？

回復期病棟に配属となった新人1年目、担当患者数20名！？そして、療養病棟に配属となった3年目、担当患者数60名！？患者さんに対し質の高いリハを提供することなど到底できず、悶々とした日々を送っていました。今となっては、「あの時の苦労があるからこそ今の自分がいる」と思えます。

7. 当時は、将来の展望をどう考えていましたか？

でっかい花を咲かしてやる！って思っていました。どんな花かはわかりませんが。

8. 当時の感想や思い出、悩みや不安は？（プライベートも含めて）

ただただ一生懸命無我夢中で仕事をしていて周りが見えず、教えてくださった先輩や支えてくれた同期のありがたさを

感じることはないまま時間が過ぎていたなと思います。

9. 当時に影響を（良くも悪くも）受けた人物はどんな

人？どんな影響を受けましたか？

人物？ ⇒ 新人1年目の頃から直接指導していただいた先輩 ST

どんな影響を受けたか？ ⇒ STの基礎を教えてくださいと同時に、臨床の楽しさや、人に対する支援のあり方、一日一笑の大切さなど、その時はわからなかったけど、今の自分に対して大きな影響を与えてくださった人だったと感じています。

10. ターニングポイントを迎えた時の気持ちは？不安

は？不安があればどう対処しましたか？

頭で考えてもわからないことばかり。何をどうすればいいのか・・・途方に暮れる。

「頭で考えてもわからないなら、体を使おう！（とにかく行動しよう！）」（やっぱりまだ脳みそまで筋肉・・・）そして、学会や勉強会に行きまわった。そうしたら、師匠に出会いました。

11. 今取り組んでいること、学んでいることをやりはじめた

ときはどうでしたか？

ドキドキワクワクが止まらない！



～STの仲間たち～

12. その頃の挫折・失敗体験は？また、そこからどう立ち

直りましたか？

挫折・失敗体験は？ ⇒ 組織を作っていく中で、「こうあるべき！」が強すぎて、他スタッフと想いや行動が共有できなかったことです。

どう立ち直ったか？ ⇒ 先輩に相談しました。1週間のうち8回くらい飲みに行きました。しこたま飲みました。

13. そこから何を学びましたか？また、現在にどう生きて

いますか？

そこから何を学んだか？ ⇒ 飲み過ぎは良くないことで

す。

現在にどう活きているか？ ⇒ 解決困難な問題に直面した時にこそ、笑って立ち向かうことです。笑っている自分がいれば、一緒に困難に立ち向かってくれる仲間がきっと現れます。

III. 具体的な仕事の内容

1. 1日の仕事の流れは？

8時30分に勤務開始ですが、必ず1時間前の7時30分に出勤します。桜ヶ丘に来て9年になりますが、どんなに二日酔いでもこの習慣を一日も怠ったことはありません(たぶん)。午前中にガス欠にならないように気をつけています。

2. 今取り組んでいること、学んでいることの具体的な内容は？

学生指導、認知症になっても安心して暮らせるためのまちづくり、STスタッフと楽しく仕事すること、脳みその柔軟体操

3. やりがいは？

終わりのない仕事なので、のんびりやっついこうと思っています。

4. これまでの仕事上での最大の成功は？

第6回日本訪問リハビリテーション協会学術大会で優秀賞をいただいたことです。

13年前に蒔いた種が7年前に芽が出て、6年後によくつぼみとなりました。

5. それによって何を得て、何を学びましたか？

棚からぼた餅、運を味方につける、継続は力なり

6. その学びをどう活かしていますか？

いつかきっと花が咲く時が来るでしょう。

7. 現在、解決しなければならない問題は？その解決策は？いつやりますか？

解決しなければならない問題？ ⇒ 働き方改革

その解決策？ ⇒ 仕事の効率化

いつやりますか？ ⇒ 今でしょ！

8. その仕事に就いて自分が変わったことは？

仕事中はハリハリ！休み中はメリメリ！

9. 仕事以外にも何かやっていることは？休日とか…

子供と一緒に時間を大切に過ごすこと

公園で遊ぶ、プールに行く、登山、サイクリング、キャンプ、

海水浴…

10. 生活と仕事の両立について

子供が生まれてから真剣に考えるようになりました。仕事

は全力で取り組み、休みも全力で子供と遊びます！

**IV. おわりに****1. 今後（近い将来 3～5年後程度）の目標は？**

笑顔の絶えない家庭と職場

**2. そのためにどんな想いでどんな取り組みをしていきま
すか？**

一日一笑。その日、笑えた出来事を誰かに話せるように
していきます。

3. 目指している人物はいますか？

ひふみん（加藤一二三）

**4. 目指している人物がいたとしたらその人物はどのよう
な点で目指す価値がありますか？**

みんなの愛されキャラ

5. あなたにとって仕事とは？

「世界は誰かの仕事でできている」「みんな誰かのために
仕事をしている」「仕事を通してどこかで誰かとつながってい
る」BY ジョージア

6. AMG で働く仲間に向けてメッセージをお願いします！

一緒に働く仲間、私たちのもとに来る患者さんと家族、私
たちを支えてくれる家族や友人…みんなが笑顔になれま
すように。そして、いつかきっと花は咲きます。

かなかな☆調査隊

患者様との感動的なエピソード集

毎号 AMG リハビリテーション部門による「患者様との感動的なエピソード」をご紹介します。
今回も、リハビリ部の奥村部長のエピソードを掲載致します。

いつも、AMGリハビリ部の活動にご協力いただきまして、本当にありがとうございます。
私の「患者様とのエピソード」の第6弾をまとめました。はなはだつたない文章で恐縮ですが、
興味がある方だけでもどうかお付き合い頂ければ幸いです。今回は、患者様と理学療法士の素敵な絆のお話です。

「信頼と絆」

1. プロローグ

それは、私が病院のリハビリ科で科長をしていた時の出来事です。

ある日、理学療法士の A (男性 20 代後半) が血相を変えて私のところへばたばたとやって来ました。

いつも年齢のわりにゆったりと落ち着いた男でしたので、すぐに「大変なことが起きたのだな」と感じたのを覚えています。

理学療法士の A が、落ち着かない様子で話してくれた内容をまとめると以下のとおりです。

- 「高齢で女性の患者さん（大腿骨頸部骨折後、人工骨頭置換術）が、リハビリ中に股関節を脱臼してしまった。私の責任です。」「主治医と病棟には連絡しました。」
- 「自分のミスで脱臼させてしまった。とんでもないことをしてしまった。」
- 「再手術になり、患者さんの入院が長引くと思う。プラスでかかる医療費を私が負担したい。」
- 「お願いですから、医療費を払わせてください。私、貯金は結構あるんです。」

というものでした。

そこで、「私も状況を把握できるようにするから、焦らなくていい。医療費は、今すぐ対応が必要なことではないから、急がなくて大丈夫だよ。」と A に伝えました。

2. 状況把握

まずは、主治医に話を聞きました。

「まあ、偶発的な要素も多く重なり、脱臼に至っていると思っている。A にもご本人にも話を聞いたが、リハビリの進め方に問題があったとは思っていない。」「A さんには気にしないように伝えてください。」との話でした。

次にご本人に今回の状況と、現在の病状を確認するため、病室に伺いました。

病室には 70 歳ぐらいの女性（ご本人）と娘さんらしき人がいらっしゃいました。

すると、私の挨拶（自己紹介）も終わらないうちに、その方（ご本人）は、堰を切ったように話し始めました。

話された内容を要約すると以下の内容です。

- 「あなた、A先生の上司の人ね。良かったちょうど話したいことがあったのよ。」
- 「A先生は全く悪くないの」「私が悪いのよ」「A先生を責めないで欲しいの」
- 「私がこんなことになったおかげで、A先生は困るわよね。」
- 「あなたの力で、A先生は悪くないと証明して。おねがい。」

さらに横にいらした娘さんがこう付け加えました。

- 「家が近いわけでもないのに、この病院に来るのは、母がA先生を大好きだからなんです。」
- 「母は、いつもわがまま指名でA先生にやってもらっているんです。A先生の言うことしか聞かないから。」（・・・そんなことは無いと思うが・・・私の気持）
- 「母は、自分の入院が長引くことなどなんとも思っていない。ただただA先生に迷惑をかけたくないんです。」
- 「治療費のことなんて、全然気にしなくて大丈夫です。」「だって、病院もA先生も全く悪くないんだから。」

3. その後

その方（ご本人）のAに対する信頼は、「絆」とでも表現すべきものでした。好きとかいう感情を超えて、子供や孫を「愛おしい」と思う感情に近いと感じるほどでした。

Aに、ご本人から頂いたお話や娘さんから頂いたお話を伝えると、ウルウルしながら、「ありがとうございます」「ありがとうございます」と何度も話していたのを覚えています。

4. 退院の日

そのお話を、当時の事務長に相談すると、「まあ、病院としては非が無いのだろうけど、スタッフに大変温かいお言葉も頂けたし、入院が長引いたことは事実なので・・・」と、退院当日に病院から見舞金（ほんのわずかな金額）をお渡しすることになりました。

それを病棟の看護師さんにお渡し頂くことをお願いしました。

看護師さんは、その方のことを良く分かっていて、「絶対受け取らないから無理ですよ」と言っていたのですが、無理にお願いを致しました。

結果は、看護師さんの言われたとおりでした。

「こんなものを受け取ったら、A先生が悪いみたいになっちゃう」

「こうされたくなかったから、リハビリの人（私のこと）にも言ったのに～。もう～。」

と（可愛く）怒っていたらしいようです。

5. その方とAに感謝

その方（プラス娘さん）との出会いは、私にとって忘れられないエピソードの一つとなりました。

命がけともいえる気迫で、患者さんに向き合ったAにも感謝しています。

何より、その方や娘さんのように、自分のことより、周りの人に感謝する心、周りの人への心遣いが優先される人でありたいなと思いました。（・・・私にはとっても難しそうですが）

その方と娘さんに良いことが起こりますように！！

この文面をお読みの皆様方にも、こういった素敵な出会い、うれしい出来事が訪れますように！！

平成30年度 AMGリハビリテーション部
年間計画表

平成30年5月7日現在

★会議・研修日程★

★求人活動日程★

6月

- 15日 病院チーフ会議
- 29日 老健チーフ会議

7月

- 22日 PTOTST 就職相談会 (新潟)
- 28日 PTOTST 就職相談会 (東京)
- 29日 PTOTST 就職相談会 (宮城)

8月

- 24~25日 管理職研修会

8月

- 4日 PTOTST 就職相談会 (福岡)
- 21日 PTOTST 就職相談会 (埼玉)

9月

- 13日 在宅支援サービス検討会

11月

- 13日 短期集中選考会

10月

- 2日 ⑥⑦合同クラスター会議
- 3日 ①②③合同クラスター会議
- 4日 ④⑤合同クラスター会議
- 12日 入所支援サービス検討会

3月

- 5日 短期集中選考会
- 20日 養成校との交流会

12月

- 7日 病院チーフ会議
- 14日 老健チーフ会議
- 20日 認知症研修会
- 21日 回復期リハ検討会

2月

- 3日 第54回 AMG 学会
- 28日 リハ部門中途入職者研修会

3月

- 20日 全チーフ会議



【発信元】

上尾中央医科グループ協議会 リハビリテーション部

部長：奥村 博文

担当：坂本 佳奈 (kana.sakamoto@achs.jp)

長澤 花菜 (kana.nagasawa@achs.jp)

ご意見やご感想、お待ちしております